

入ヶ池

ため池 訪問 ルール	駐車場	魚釣り	バーベキュー	ペット糞尿	たき火	生物放流	車両進入	その他
	×	×	×	×	×	×	×	



ため池データ

所在地	加古郡稲美町北山 1243		
総貯水量	279,000 m ³		
貯水面積	144,508 m ²	受益面積	75 ha
管理者	入ヶ池郷土地改良区		
築造年	714年		
改修年	1977～1981年		



稲美町

ため池紹介

入ヶ池は伝承によれば 1300 年前に築造されたといわれています。

想像がつかないほど長い歴史をもち、この地域の人々は、入ヶ池の水を中心に稲作を行い、生業としてきました。

◆歴史・文化等

入ヶ池は、奈良時代につくられたと言われており、次のような伝説が北山の「川上真楽寺縁起」に残っています。

蛸草村では、村人たちが池をつくる準備をしていました。しかし、せっかくつくった堤防が水に流され、池を完成することができませんでした。10 数年の月日が過ぎ去ったある日、この村をきり開いた藤原弥吉四郎の孫である光太衛の夢の中に一人の僧があらわれ、「堤防を六枚屏風の形にし、北の山に近いところに「うてみ（洪水吐）」をつくると良い。そのとき、一人の美女が通りかかるであろう。その女を人柱にすれば、きっと池ができあがるであろう。」と言いました。光太衛は村人を集めて、お告げの通り、池づくりを進めました。すると、20 日ばかり過ぎた頃、一人の美女が通りかかりました。村人は直ちに捕らえ、堤防の柱としたのでした。その女の名を「お入」といったことから、「入ヶ池」と言われるようになりました。その後、昭和 54 年の改修工事で、現在の池の形になりました。

◆自然環境

甲子園球場の 3 倍を超える広大な池の周辺にはのどかな田園風景が広がります。

◆レクリエーション

堤に遊歩道が整備されており、朝・夕には近隣の人々が入ヶ池の景色や水鳥等を見ながら散歩しています。



満水面積 14.5ha は兵庫県で第 5 位を誇っています



714年の築造から1300年を記念したセミナーが開催された

ため池ごよみ



項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
農作業	水稻 (コシヒカリ)			■									
	大麦	■							■				
水利・保全作業	溝掃除 (普請)	●●											
	堤体草刈			●				●					
	野焼き									●			
	クリーンキャンペーン (草刈・清掃)				●								
	配水操作 (ゲート、セキ板等)		■										
かいぼり (池干し)													
イベント等													
主な動植物の見頃	コスモス							■					
	景色等の身頃 (周辺も含めた眺め)												
その他	大雨前の事前放流												